

復興のパズル
みんなで作る
未来のカタチ

「災害からまなぶ」 パッケージ学習事業について

●事業概要 ●参考資料



西予市 政策推進課 復興支援室



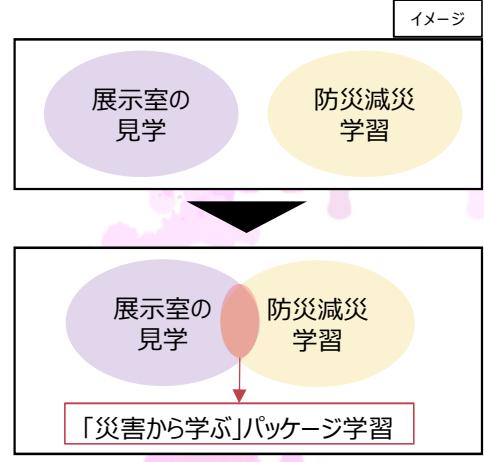
「災害から学ぶ」パッケージ学習とは

乙亥会館「災害伝承展示室」と防災減災学習を組み合わせた（パッケージ化）新しい学習機会の提案

- 平成30年7月豪雨の記録と記憶の継承、防災教育の推進を目的として、乙亥会館に「災害伝承展示室」ができました。
- 展示室の見学と併せ、防災減災学習を同日で行うことで、より意義深い学習の機会を創出します。

【狙い】

- 災害の教訓を、学校教育の場で生かすこと。
- 展示室の見学と学習を組み合わせ、防災減災学習を深化させること。
- コロナ禍でも、市内でできる校外学習の機会を提案すること。
- 本事業を、将来的に学校教育における体系的な防災教育の確立に繋げること。



概要

- 展示室の見学（必須学習）に、15の学習メニュー（選択学習）の中から希望する学習を選択し、組み合わせた内容を実施
- 場所：乙亥会館（集合場所も同）
- 市で、学習の講師を招く経費等を負担します。
- 実施を希望する学校は、申請書を西予市復興支援室まで提出
- 詳細は「手引き」をご確認ください。

学習の内容について

必須学習と選択学習

- 「必須学習」+「選択学習」を自由に組み合わせることができます。
- 各学習の内容は「利用の手引き」をご参照ください。

必須学習

- 展示室を活用した学習（3パターンから選択可能）
- | | |
|----------------------------|-----|
| → 見学のみ（案内・解説なし） | 60分 |
| → 災害語り部による案内・解説あり | 60分 |
| → 災害語り部による案内・解説あり（短縮バージョン） | 30分 |



選択学習

● 地図から読み解く減災学習（ジオパーク推進室）	45分～
● 大地の下を見つめてみよう！（〃）	45分
● ブラウのむら～ジオ×防災 まちを歩いて考えよう！～（〃他）	120分
● 私達は動く大地に住んでいる～四国西予ジオミュージアムで学ぶ大地の動き～（〃）	60分
● 地震から命を守る（危機管理課）	45分～
● 風水害から命を守る（〃）	45分～
● 避難のときに命をつなぐ大事な物を選ぼう（〃）	45分～
● 自助・共助の重要性を学ぶ（〃）	45分～
● みんなが安心してすごせる避難所をつくるために（愛媛大学）	90分
● 未来の防災倉庫を置くならどこに？（愛媛大学）※	360分
● クロスロードで学ぶ防災（愛媛大学）	45分
● 防災キャンプ（愛媛大学他）※	1泊2日
● マイタイムラインを作ろう（愛媛大学）	要相談
● 災害VR・ARの体験（風水害編）	30分
● 災害VR・ARの体験（地震津波編）※8月以降受講可能！	45分

青字は令和4年度新設メニューです。

※は事前相談が必要なメニューを指します。



利用の流れ

申請書を提出

- 申込書（様式第1号）データを、西予市復興支援課までメールで提出してください。
【mail:fukkoushien@city.seiyo.ehime.jp】

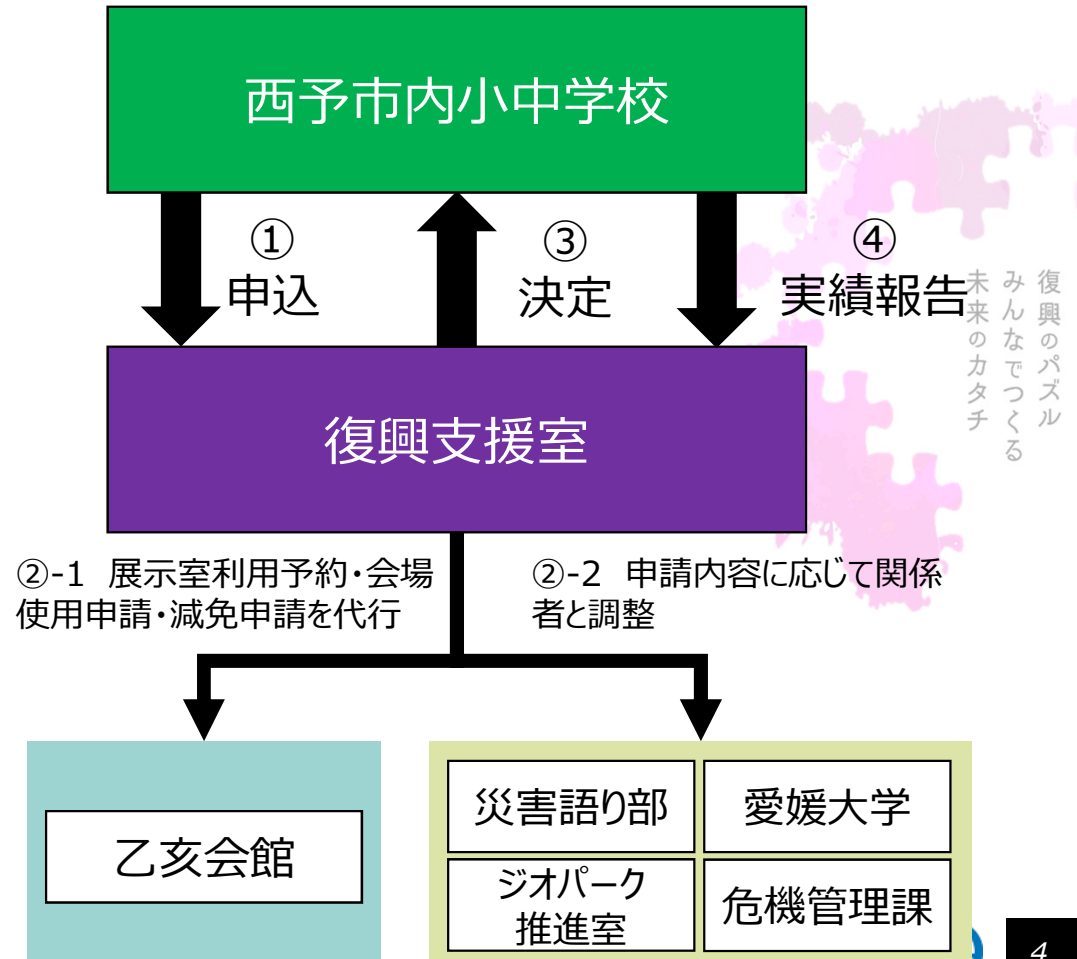
（様式第1号）
「災害からまなぶ」
パッケージ学習申込書

申込年月日：令和 年 月 日

※本枠の中をご記入ください

学校名	学校	担当者名	
連絡先 （※3日以内の返信を希望する場合は必ず記入してください）	学号 電話	担当 携帯電話	
E-mail			
希望する日時	年 月 日（曜日） 午前・午後 時 分～ 時 分		
※希望する学習内容 （※3日以内の返信を希望する場合は必ず記入してください）	【 】見学のみの 【 】災害情報に関する案内解説あり 【 】短編バージョン		
希望する学習内容 【複数可】	【 】 映画から読み解く防災講座（ジオパーク推進室） 【 】 天災の下から見てみるふるさと（ジオパーク推進室） 【 】 防災のむかし×防災 まちまちはいてるよう（連携学習） 【 】 私達は電線大木に住んでいる～四国西予ジオミュージアムで学ぶ大木の謎～（ジオパーク推進室） 【 】 地震から命を守る（危機管理課） 【 】 風水害から命を守る（危機管理課） 【 】 避難のときに命をつなぐ大事な物を選び方（危機管理課） 【 】 自助・共助の重要性を学ぶ（危機管理課） 【 】 みんなが安心して暮らす避難所をつくるために（愛媛大学） 【 】 未来の防災意識を養うからどろろ（愛媛大学） 【 】 クロスロードで学ぶ防災（愛媛大学） 【 】 防災キャンプ（愛媛大学） 【 】 マイタイムランをつくる（愛媛大学） 【 】 災害VR-A5の体験（風水害課）（復興支援室） 【 】 災害VR-A5の体験（地震津波課）（復興支援室） 【 】 その他（ ）		
【特記事項】 ※希望する学習内容と異なる内容など（希望があれば）			
両天時の対応	中止 ・ 両天時併用 ・ 延期 ・ 小間併用		
利用者の情報	学年	クラス数	人数 男 生徒 引継者 名
交通手段	車両台数	台	
適用科目	生活科 ・ 理科 ・ 社会科 ・ 総合的な学習の時間 ・ 特別活動 ・ その他（ ）		
学習のねらい			
事前・事後の学習の予定			
その他			

（参考）一連の流れ



参考資料

- 災害伝承展示室について
- 災害語り部について



災害伝承展示室の概要について

基本方針

- 平成30年7月豪雨災害の事実を伝承する施設
- 復興への歩みと支援への感謝を発信する施設
- 学習・教育の場として活用できる施設
- まち学習への窓口機能を有する施設

展示テーマ

事実を知り、学び合い、備えの先にいのちを守る

- 災害の教訓を生かすためには、正確な事実を知ることから始まる
- 事実から学び合い、学習行動を共有することで、災害に強いまちを創る
- 知ること、学ぶことが想定される災害に備える行動に繋がり、それが命を守る

参考 (市HP)



▲ 参考
「災害伝承展示室」について



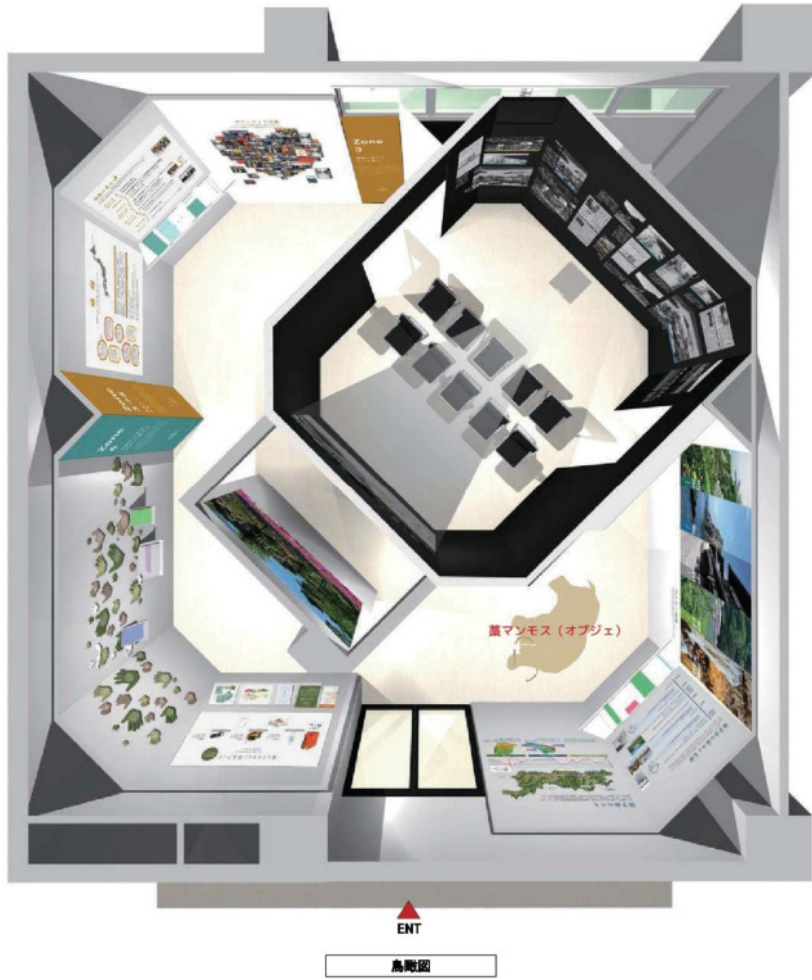
▲ 参考
「利用方法について」

復興のパズル
みんなで作る
未来のカタチ

室内の概要について（パース・ゾーン分け）

イメージパース

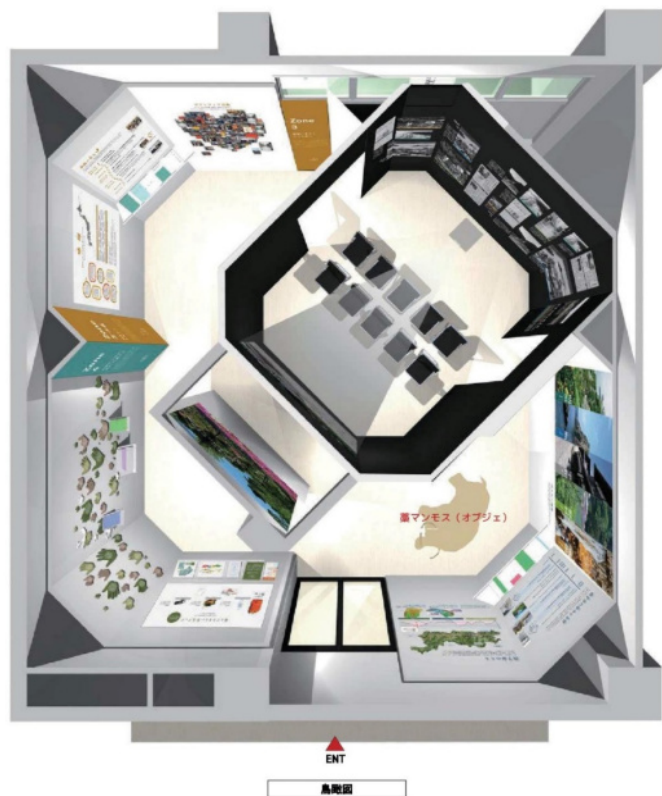
4つのゾーンに分けて展示



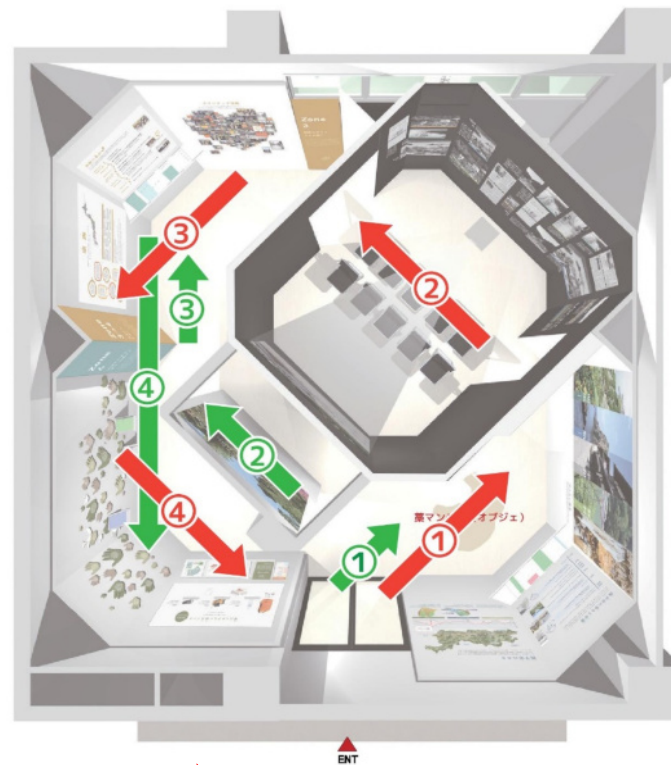
復興のパズル
みんなで作る
未来のカタチ



具体的な整備内容について（複数の導線設定）

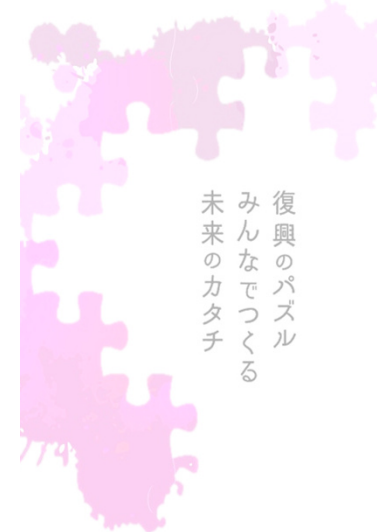
イメージパース



当時の様子を見たくない人にも配慮した導線



- ルートA 
- 4つのエリアを順番に回る導線
- ルートB 
- 当時の様子を克明に記録する資料【②のエリア】を見たくない人の導線



復興のパズル
みんなでつくる
未来のカタチ

誰もが「使いやすい・見やすい」ための工夫

ユニバーサルデザインについて

- 誰もが見やすい「UDフォント」を採用
- 色覚弱者の方に配慮したカラーデザインの採用
 - CUD・・・カラー・ユニバーサル・デザイン（見えにくさを生じさせない色使いの技法）
- 誰もが理解しやすい文章とデザインの技法を採用
 - UCDA・・・ユニバーサル・コミュニケーション・デザイン・アソシエーションが認証する「見やすい・分かりやすい・伝えやすい」を追求した表現の技法
- 小学5年生までに習わない漢字には可能な限りふりがなを付記
- 入口・室内すべての経路で850mm以上の幅を確保
 - 車いす、ベビーカー利用者も使いやすい設計
- 段差のない床設計
 - すべての人が歩きやすい設計
- 展示エリアの高さを700mm～2,000mmに限定
 - 子どもから大人まで見やすい設計

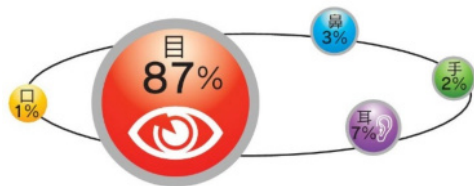
通常フォント → UDフォント

プ → プ

3 8 → 3 8

6 9 → 6 9

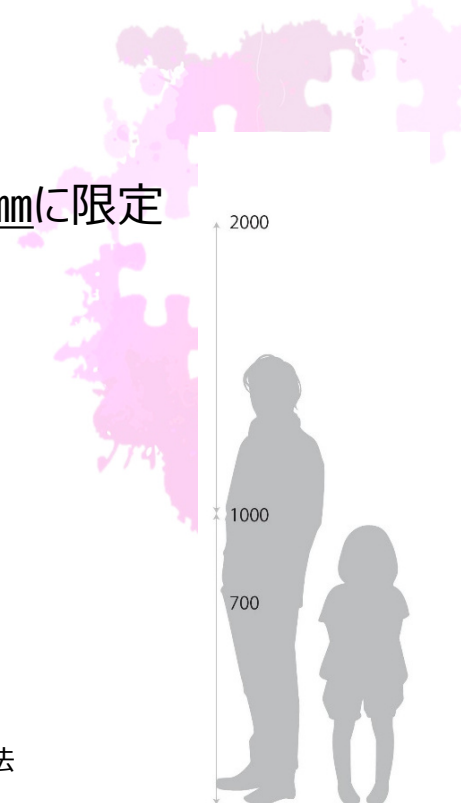
▲ UDフォントの例



▲ 誰もが見やすい色使い

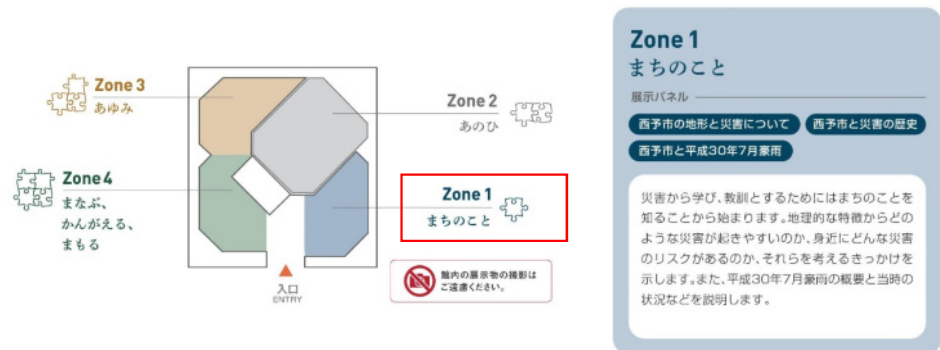


▲ UCDAはこれらの不満を解消する技法



具体的な展示内容について (ゾーン1・ゾーン2)

ゾーン1 - まちのこと -



【展示パネル】

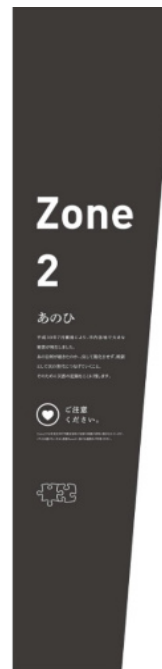
- 西予市の地形と災害について
- 西予市と災害の歴史
- 西予市と平成30年7月豪雨

【展示情報】

- 地理的特徴、災害の種類等
- ハザード別災害の記録
- 平成30年7月豪雨災害の地域別概況、被害の内容

など

ゾーン2 - あのひ -



【展示パネル】

- 災害当時の西予市
- 映像類

【展示情報】

- 当時の様子
- 地域別被害状況
- 応急期の活動

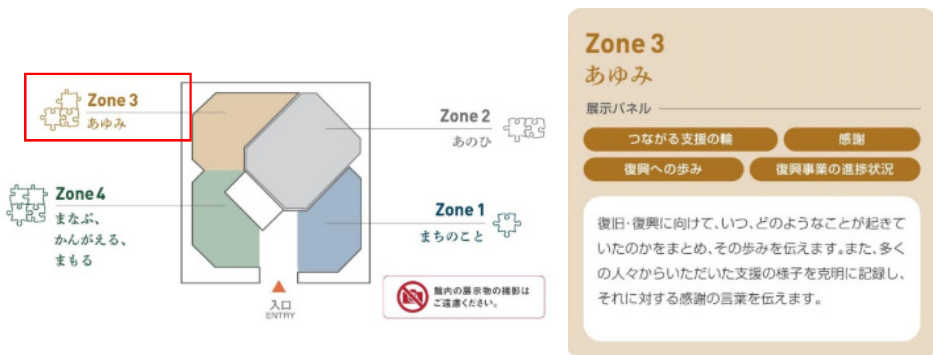
など

復興のパズル
みんなで作る
未来のカタチ



具体的な展示内容について (ゾーン3・ゾーン4)

ゾーン3 - あゆみ -



Zone 3
あゆみ

このゾーンでは、被災者や支援者の方々の声や、復興に向けた歩みを伝える展示を行います。

その歩みの軌跡には、多くの困難や苦しみ、希望や力強い思いが込められています。

被災者の方々の声や、復興に向けた歩みを伝える展示を行います。

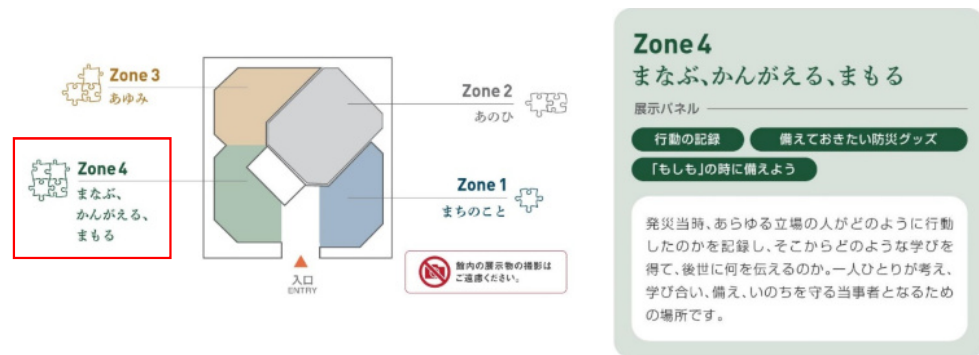


- 【展示パネル】
- つながる支援の輪
 - 感謝
 - 復興への歩み
 - 復興事業の進捗状況

- 【展示情報】
- 支援の様子
 - 当事者の言葉による支援への感謝
 - 復興年表
 - 復興に関する事業の進捗

など

ゾーン4 - まなぶ、かんがえる、まもる -



Zone 4
まなぶ、かんがえる、まもる

このゾーンでは、発災当時の行動の記録や、防災グッズの展示を行います。

発災当時の行動の記録や、防災グッズの展示を行います。



- 【展示パネル】
- 行動の記録
 - 備えておきたい防災グッズ
 - 「もしも」の時に備えよう

- 【展示情報】
- 当時の人々の行動の記録
 - 防災状況
 - 防災減災への取り組み
 - 防災減災情報

など

復興の
パズル
みんなで
つくる
カタチ



映像コンテンツ・インフォメーショントンネルなど

映像コンテンツ (ゾーン2内)

- ゾーン2の「シアタールーム」では、以下の動画を視聴することができます。



記録映像
(H30.7豪雨)



氾濫シミュレーション
(H30.7豪雨)



のむら復興まちづくり

ゴーグルを使用して視聴ができるVR動画の体験版です。

- 記録映像 (約7分) ... 肱川や市内の中小河川の氾濫の様子、土砂災害の映像を見ることができます。
- 氾濫シミュレーション (約2分30秒) ... 当時の肱川氾濫がどのように広がったのかを特殊映像で見ることができます。
- のむら復興まちづくり (約4分) ... 今後再整備が進む野村地区の復興まちづくりの未来予想図を特殊映像で見ることができます。

インフォメーショントンネル

インフォメーショントンネル ♥ Zone2を避けたい方へ

展示パネル **守りたい風景**

西予市の昔から守ってきた、これからも守っていききたい風景を展示しています。5つの地域の風景から、その土地ごとの特色を知ることができます。インフォメーショントンネルを通ることで、Zone1からZone3へ直接行くことができますので、Zone2を回避したい方は、こちらをご利用ください。

→ 通常ルート → Zone2の回避ルート



【展示パネル】

- 守りたい風景 (ジオパークの視点)
- フリースペース

【展示情報】

- 地域別の風景写真
- 資源等の紹介
- フリースペース



復興の
パズル
みんな
でつくる
未来の
カタチ

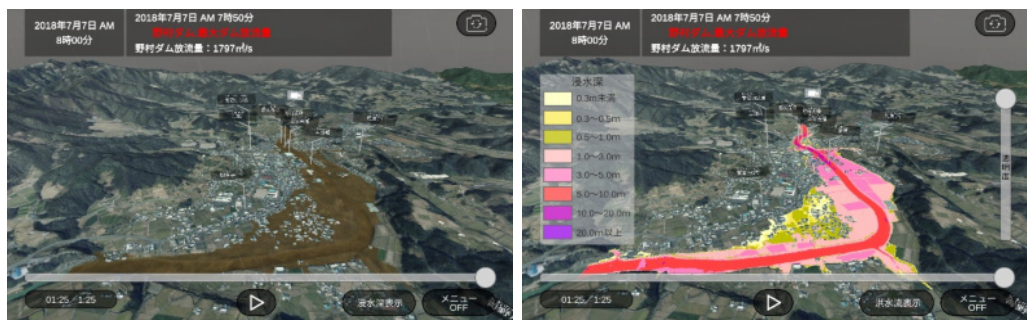
VR・ARについて

VR・ARとは

- **VR**・・・Virtual Reality（バーチャル・リアリティー）【仮想現実】
 - 「目の前にある現実とは違う現実を仮想的に体験する」ためのもの
- **AR**・・・Augmented Reality（オーギュメントド・リアリティー）【拡張現実】
 - 「現実の世界に新しい情報を追加する」ためのもの

風水害編

- 平成30年7月豪雨を再現するコンテンツとして活用することで、災害の記録を伝承する。
- 災害の疑似体験を通じて、災害の特徴を捉え、防災減災意識の啓発・向上に繋げる。

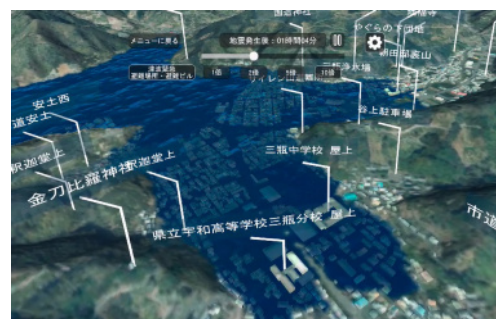


▲ 浸水の再現（VR）

▲ 浸水深度を色分けで表示

地震津波編 ※R4.8月以降、体験可能！

- 南海トラフ巨大地震を見据えた防災学習の充実を望む声が多くあったことから、令和4年度から、地震津波を疑似体験できるVRコンテンツを追加。
- 屋内・屋外、市街地・山間部・沿岸部などあらゆる場面を想定し、災害を疑似体験することで、適切な避難行動などを学ぶことが可能。



復興の
パズル

災害語り部について

災害の記録と記憶の伝承

記録



● 災害伝承展示室

記憶



● 災害語り部

事業展開

- 災害の「記録」は、災害伝承展示室が、
- 災害の「記憶」は、災害語り部が、
- それぞれ両輪の役割を果たし、
- 「災害の記録と記憶」の伝承を果たしていく。

語り部活動の目的

- 当時を体験した方が、**自らの体験談**（＝災害の記憶）を後世に伝承することで、災害を風化させることなく、防災減災学習の推進に繋がるとともに、まちづくりの推進に寄与することを目的とする。

属人的・希少的取組 ～その人でなければ伝えられない～

- 記憶は積極的に伝えなければ風化してしまう。
- 当時を経験された方々だからこそ、**言葉の重みや温度**を大切に伝えていく取り組み。
- 経験を“教訓”として伝えることで、災害を風化させず、学習意義の深化に繋げていく。

今日までの主な活動内容などについて

活動

- 展示室内の案内
- 被災したまちの案内 など

メンバー

- 当時を経験された、10代～80代の男女10名
- 野村地域自治振興協議会

活動の様子



▲ 展示室を案内 ▲ テラスから被災地を案内 ▲ まち歩きによる案内



<https://www.city.seiyo.ehime.jp/material/files/group/85/koho202012.pdf>

- 広報せいよに、語り部活動の様子を特集で掲載しています。

今日までの主な活動実績

時	内容	人数 (人)
令和2年10月12日	展示室オープニングセレモニー来賓案内	50
10月20日	愛媛県知事ら（さずな博関係）	7
11月4日	個人	1
11月9日	市内団体（ジオガイドグループ）	10
11月11日	市内団体（身体障がい者協会野村支部）	20
11月26日	西予市立中川小学校	26
11月27日	西予市立大野ヶ原小学校	8
12月1日	市外団体（四国中央市立南小学校）	33
12月6日	市内団体（ノヤマカンパニー）	20
12月19日	個人	1
令和3年2月5日	愛媛県南予地方局	7
2月12日	西予市立野村小学校（6年生）	41
2月19日	西予市立田之筋小学校	13
2月23日	個人	1
3月11日	西予市立野村小学校（4年生）	53
3月14日	個人	6
3月20日	個人	2
3月25日	市内団体（三瓶東公民館）	20
3月27日	市外団体（西条市）	30
6月10日	西予市立野村小学校6年生（1クラス）	31
6月11日	西予市立野村小学校6年生（2クラス）	30
6月15日	市内団体（市議会「議会だより」編集委員）	9
6月21日	個人（産経新聞）	1
6月23日	市内団体（四国西予ジオパーク推進協議会）	4
6月25日	個人（朝日新聞）	1
6月28日	市外団体（南海放送）	4
6月30日	市外団体（あいテレビ）	3
7月2日	市外団体（テレビ愛媛）	3
7月15日	西予市立宇和中学校	40

時	内容	人数 (人)
8月2日	西予市総合的な学習委員会（教職員）	12
8月4日	市内外団体（歴博友の会）	25
10月22日	西予市食生活改善協議会	21
10月22日	市外団体（松山商業高等学校）	42
10月26日	市内団体（四国西予ジオパーク推進協）	7
10月28日	西予市立中川小学校4年生	31
11月3日	個人	2
11月18日	市外団体（室戸世界ジオパーク）	3
11月20日	市外団体（神戸松蔭女子学院大学）	5
11月20日	市外団体（松山市桑原地区まち協）	11
12月1日	市外団体（伊方町老人クラブ連合会）	22
12月3日	市外団体（NHK松山拠点放送局）	18
12月10日	西予市立城川小学校4年生	20
12月14日	市外団体（伊方町大久小学校）	27
令和4年5月21日	市外団体（一社地域安全学会）	47
合計		768

